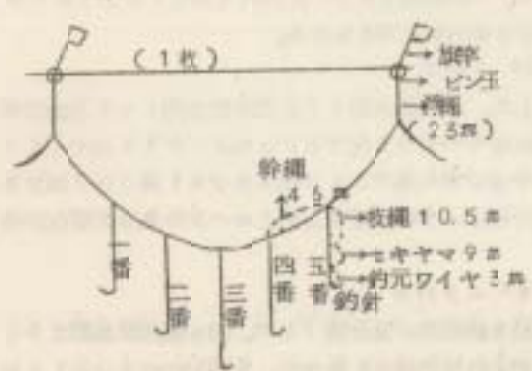


- セレス海中央部附近にて第一回目の延縄漁業試験と実施
- 8月15日
- 前日の濃霧不浪で漁場移動
- 8月16日
- セレス海南西部にて第二回目の延縄漁業試験実施
- 8月17日
- 前回の漁場附近にて第三回目の漁業試験実施
- 8月18日～20日
- セレス海中央部附近に戻り再調査し漁業試験3回実施
- 8月21日
- 漁場移動の為航行
- 2月22日～24日
- セレス海東部漁場にて漁業試験実施(3回)
- 8月25日
- 操業打ち切り帰港につく
- 9月3日
- 泊港に帰着した。

各漁場における漁況の概要
(セレス海)

8月1. 中央部附近のLat 4°-15'N Long 123°-32'E (投網開始)
 使用漁具数 500枚総漁獲高22尾総産率1.46%で今次調査に於ける最低値を示し漁場価値が低かつた。魚種別に見るとキハダ17尾で1.15%が最高でありメバチ2尾0.15%、クロカワカジキ、シロカワカジキ及びフカは各1尾でそれぞれ0.06%の低調値りであつた。同マダコ類の魚体は大型の方であり餌付は遅へ、方の枝籠に最つとも多く幾分上層回遊せるものと考えられるが、魚群は稀薄であつた。

漁具の構造



名称	材質	規格	数量
幹	鋼	9寸	4 [#] ×6本
枝	鋼	"	10.5×8本
	鋼系	"	25 [#] 1本
セキヤマ	鋼線	27×3.5	9×5'
釣	ワイヤ	"	9×5'
釣	針	鋼鉄 3.6寸	5個
サルカン	真鍮	10号	5個
ピン	玉	ガラス 9寸	5個
ボンデン	竹	真竹 15寸	1本

012 南西部01042° - 55'N, 経度1119° - 49'E

使用漁具数295枚総漁獲高65尾で釣獲率は42.7%と上昇した。魚種別にはキハダ50尾で13.9%と高率を示しているが其他はメバチ3尾で0.20%クロカワカジキ1尾0.07%フカ類7尾で0.48%バセウカジキ2尾0.14%の低調振りである。尚キハダは中型魚(30~55kg程度)が一番多く何付状態は各枚 混共略々同率を示していたが被害魚(イルカ、フカ等による)の数は最高値を出した(第三表)

013 01042° - 52'S 経度1115° - 53'E

前回(012)の漁場はマダロの被害魚が随分多かつたので漁場を随分西寄りに移動して操業した。使用漁具数250枚総漁獲高28尾で釣獲率22.4%と低下し魚種もキハダ、メバチ、バセウカジキの三種しか漁獲出来ず、キハダ20尾で1.60%メバチ1尾0.07%バセウカジキ9尾で0.56%の漁獲不振であった。

014 01043° - 20'N 経度1120° - 20'E

(011)漁場の若干南西寄りでセレベス海の端々中央部に位置する漁場で漁況も好転した。使用漁具数250枚総漁獲高96尾で釣獲率26.8%と上昇し魚種別にはキハダ86尾で6.81%の高率を示している。其他メバチ4尾で0.32%フカ類4尾で0.32%シロカワカジキ、バセウカジキ各1尾でそれぞれ0.08%の漁獲順位となつている。

015 01043° - 50'N 経度1120° - 14'E

前回の漁場附近で漁獲高は更に上昇し依然好況を呈している。使用漁具数287枚総漁獲高113尾で釣獲率29.7%と高率が続いた。魚種別にはキハダ104尾で9.24%今次記録の最高値を示している。次いでフカ類5尾0.21%メバチ2尾0.14%クロカワカジキ、シロカワカジキ、メカジキ、バセウカジキ等各1尾でそれぞれ0.07%の釣獲率となつている。

016 01043° - 10'N 経度1120° - 19'E

014、5の漁場と同附近であるが漁船が極く接近して投網したので其れを避けるため、予定道路を変えて投網した。使用漁具数289枚総漁獲高56尾で釣獲率24.9%と激減した。魚種別にはキハダ22尾で1.52%と急激に低下したのが認められたが、メバチ3尾0.21%クロカワカジキ1尾0.07%バセウカジキ5尾0.21%と前回と殆んど変わらず、フカ類7尾で1.48%と少し上昇した。本漁場は投網終了点に於いて南洋目録の結果第一表に示す如く、中下層水温が011、5の漁場より5°と内外も低目となつており海況異変が有り漁況にも影響を与えたんじゃないかと考えられる。

017 01043° - 00'N 経度1123° - 09'E

中中央部から東部漁場に移動して操業した。使用漁具数292枚総漁獲高113尾で釣獲率26.6%と再び活況を呈した。魚種別にはキハダ38尾で6.00%メバチ16尾で1.10%クロカワカジキ2尾で0.13%バセウカジキ4尾で0.29%メカジキ1尾0.07%フカ類2尾で0.13%となつている本漁場ではメバチの釣獲率上昇とキハダの魚体大型化が特に注目された。

018 01042° - 43'N 経度1124° - 22'E

前回の漁場より東寄りにて投網した結果釣獲率が随分低下した。即ち使用漁具数290枚で総漁獲高36尾で釣獲率24.3%と約 $\frac{1}{2}$ の漁獲減少となつた。魚種別にはメバチ16尾で1.10%バセウカジキ4尾で0.27%メカジキ1尾で0.07%と変化は見られないがキ

ハダ15尾の10.3%は前日の前日の魚獲となっており、シロカワカジキ、フカ類は魚獲ゼロとなった。

019 0012²-26¹ 0007124²-7¹E

好漁のあった(017)魚場へ漸上りして投網した結果幾分魚獲率の上昇が認められた。使用漁具数286枚総漁獲量66尾釣獲率4.61%と稍々好転した。魚種別にはハダ550尾で34.9%と上昇メバチは5尾で0.21%と低下した。シロカワカジキ1尾で0.07%、セウカジキ6尾で0.42%、マカジキ1尾0.07%、フカ類5尾で0.35%となっている。

項目	017	018	019
漁獲量(尾)	100	100	66
漁獲率(%)	4.61	4.61	4.61
ハダ(尾)	550	550	550
ハダ(%)	34.9	34.9	34.9
メバチ(尾)	5	5	5
メバチ(%)	0.21	0.21	0.21
シロカワカジキ(尾)	1	1	1
シロカワカジキ(%)	0.07	0.07	0.07
セウカジキ(尾)	6	6	6
セウカジキ(%)	0.42	0.42	0.42
マカジキ(尾)	1	1	1
マカジキ(%)	0.07	0.07	0.07
フカ類(尾)	5	5	5
フカ類(%)	0.35	0.35	0.35
その他(尾)	0	0	0
その他(%)	0	0	0
漁具数(枚)	286	286	286
漁獲率(%)	4.61	4.61	4.61